

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まります

「総合計画」は、町の未来の「かたち」を決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

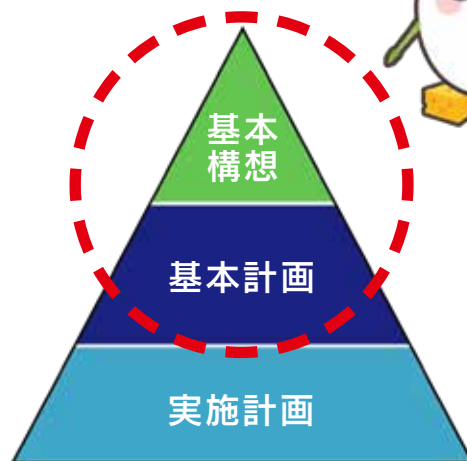
未来の「かたち」を描く3つの段階

- ・ **基本構想** 将来像を定め、その実現に向けた大きな方向性を示すもの
 - ・ **基本計画** 基本構想を実現するために実施する事業の方向性を示すもの
 - ・ **実施計画** 個別の事業を、具体的にどうやって行うかを示すもの
- ※この3つの段階を総称して「総合計画」と呼んでいます。

第3次総合計画策定に向けて「基本構想」と「基本計画」を新しくする準備をはじめたたま～！

〔第2次安平町総合計画の構成と期間〕

- **基本構想（10年間）**
H29～R8
町の将来像や政策、施策の大枠を示す長期的な指針。
- **基本計画（前期2年間、中期4年間、後期4年間）**
H29～H30 R1～R4 R5～R8
基本構想を実現するための中期的な指針。政策を分野別にまとめ、現状と課題から事業の方向性などを示し、達成度を測るために成果指標を設定している。
- **実施計画（3年スパンで、毎年度見直し）**
基本計画に基づいた個別具体の事業を立案。



なぜ「総合計画」が大切なのでしょうか

「人口減少」や「少子高齢化」「自然災害への備え」「持続可能な地域づくり」など町や町民の皆さんは、たくさんの課題と向き合っています。

だからこそ、これからの安平町をどんな町にしていけるか、そしてそのためには何をすべきかを、町としてしっかりと定める必要があります。

この総合計画は「まちづくりの設計図」であるとともに「みんなで進む地図」でもあります。